



道徳だより

令和3年7月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～



今年度は、4月から授業の取り組みを掲載してきましたが、今月は早7月に入り夏休みを迎えようとしています。雨の日が多い季節になりましたが、雨にも負けず、友達と学び合える空間を大切にして活気を取り戻していけたらと思います。

道徳だより7月号では、2年生の授業の感想をまとめましたので、御家族でお話のあらすじと同じ場面を思い浮かべながら、読んでいただければと思います。



<2年生の授業より>

「ありがとうって 言われたよ」～親切、思いやり～ テーマ ★やさしくできた★

●お話の内容●

主人公の「ぼく」が、身の回りの困っている人に優しく親切にし、それぞれから「ありがとう。」という意味の言葉を得るとい話です。

- ① 傘にゆうまくんを入れてあげる
- ② かなさんの傘をすぼめてあげる
- ③ ひろきくんをエレベーターに乗せてあげる



3つの親切

(教師) 家に帰ってお母さんと話している「ぼく」は、どんな気持ちだったでしょう。

- (児童)
- ・また手伝いをして「ありがとう。」と、言ってもらいたいと思います。なぜなら、また「ありがとう。」と、言ってもらいたいからです。
 - ・3回「ありがとう。」と言われて、いい気持ちだから、またやりたい。
 - ・また、いっぱいやろう。なぜなら、もっと「ありがとう。」と言ってほしくて、お母さんに教えてあげたいからです。
 - ・お母さんにほめられてうれしい。みんなに「ありがとう。」と、言われてすごくうれしい。今日は、最高の日だな。
 - ・やっぱり、お母さんにほめてもらえてうれしい。

★グループであいさつのロールプレイングをしてみよう★

- 視線 「目を合わせてあいさつと目を合わせずにあいさつ」
- 表情 「笑顔であいさつと怒った顔であいさつ」
- 声の大きさ 「大きな声であいさつと小さな声であいさつ」



- ・笑顔であいさつして、さらにおじぎもつけると、とても気持ちがいいですよ。
- ・笑顔で言うと、相手も笑顔になります。自分の顔を見てくれないと、とても悲しいと思います。
- ・怒った顔や人の顔を見ないであいさつすると悲しい気持ちになるけれど、顔を見て元気にあいさつするとうれしくなります。あとは、相手がすぐに返事をしてくれると、もっとうれしいです。

★気持ちのよいあいさつをするには・・・

- 相手の目を見てあいさつしよう！ ○笑顔であいさつしよう！ ○お辞儀もするとさらによい！
- 相手に聞こえる声であいさつしよう！ ○あいさつされたら、すぐに返そう！